

# 中日ニュース

第二四三号 内容

高野七八号

カメラ風土記

## 一、木曾路の秋

—長  
野  
岐阜  
泉野

（P有）

秋の七草もめつきり色を増したことは中仙道木曾の谷合い。「木曾路はすべて山の中にある」と有名な冒頭ではじまる。夜明け前々の文豪島崎藤村のふる里です。

山路をゆく木曾馬の往来のはげしくなる秋は、また馬市のシーズンでもあります。丹精こめて二万円。仔馬の寂しそうな瞳がいつまでも飼主の足を止めてくれるようです。

然し平和なこの神坂村も、岐阜県中津川への合併をめぐつて激しい利害の対立を見せています。

長野の藤村を岐阜の藤村にたたくないという長野県側。時代から取残されて経済文化の孤児になるなどという岐阜県側。静かな山合いの部落はいま押寄せる新しい時代の波に苦悶の表情を見せています。

## 一、週間話題

### ★ポール・アンカ来日

—東  
京

おなじみの歌手ポール・アンカが八月六日、日本を訪れました。世界のハイティーンの胸をときめかしたポールはまだ十七才。キッスでにぎやかな歓迎陣に愛嬌をふりまきました。

### ★街の闘牛

—南  
フランス

南フランスはバリヨンヌで雌牛レースが今年も一万人の見物人を集めて行われました。街の真ん中で暴れ牛を追いまわす陽気であらつばい年に一度のお祭りです。

## 一、妥協のない闘争

九月六日の早朝。文部省の前から道徳教育の研習を受ける関東ブロックの校長先生が特別仕立のバスに乗り込みました。

会場の御茶の水女子大には話合いです。これを阻止しようとする日教組の先生達がつめかけバスの到着を待っています。しかし文部省は先生達の裏をかいて、突如会場を変更して上野の博物館に入りました。

こうして道徳教育の研習会ははじめられました。文部省の強引な作戦に講義を受ける校長先生は割り切れない表情。この頃、裏門では全学連の学生が警官隊と衝突、四日間わたつて異常な迄の争いが続けられました。

こうした中で社会党は動評斗争のあつせんに乗りだしましたが岸総理がこれを拒否したため、解決の途は全く閉ざされました。国会でも社会党が動評斗争に対する警察当局の介入を鋭く追及しました。国会でも社会党が動評斗争に妥協のない動評斗争は泥沼の様相を見せています。

296  
製作配給

154  
東京中日新聞、中部日本ニュース映画社

228